

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

マテリアル
リサイクル

再利用設計

用途

バンパー／インパネ／ドアトリム etc.

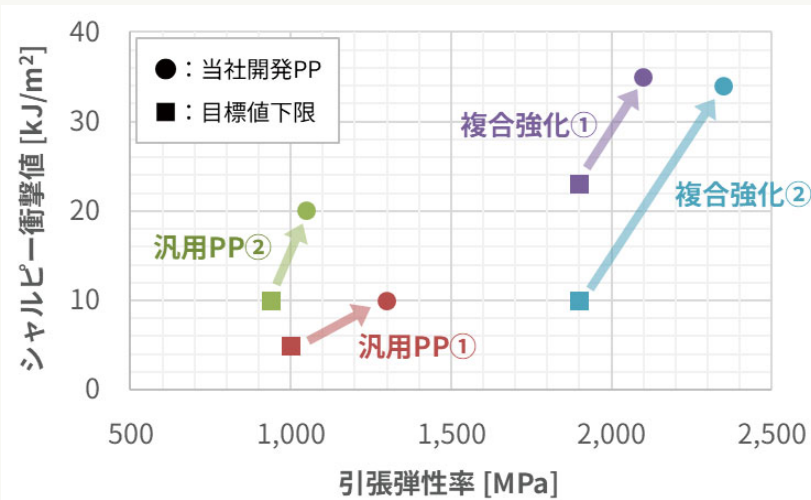
課題

- 欧州 ELV 規則、日本自動車工業会の目標等を見据え、マテリアルリサイクル材料 (マテリサ材) の需要が高まっている。
- しかしながら、マテリサ材使用においては、バージン材対比で物性低下・外観悪化などの品質課題がある。

ソリューション

			汎用PP①	汎用PP②	複合強化①	複合強化②
想定用途			一般部品	ドアトリムなど	バンパーなど	インパネなど
グレード			RC004	RC005	RC006	RC007
PCR率			50%	25%	25%	25%
MFR(230℃, 2.16kg)	g/10min		25	25	30	30
密度	g/cm ³		0.90	0.90	1.03	1.04
引張弾性率	23℃	MPa	1,300	1,050	2,100	2,350
引張破断伸度	23℃	%	60	≥100	50	30
シャルピー 衝撃値	23℃	kJ/m ²	10	20	35	34
	-30℃	kJ/m ²	4.8	5.3	3.1	3.3

- 高品質なりサイクル原料の選定と独自の配合設計技術を組み合わせることで、バージン材と同等レベルの性能を達成。
- 日本自動車工業会が公表した再生樹脂の物性目標値に適合する材料を提供可能。



ベネフィット

- バージン材と同等レベルの性能を有するマテリサ材を、各種自動車部材に適用可能。
- お客様の要望に応じたカスタマイズが可能。(物性、リサイクル率、色、等)

お問い合わせ



日本ポリプロ株式会社

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

マテリアル
リサイクル

軽量化

再利用設計

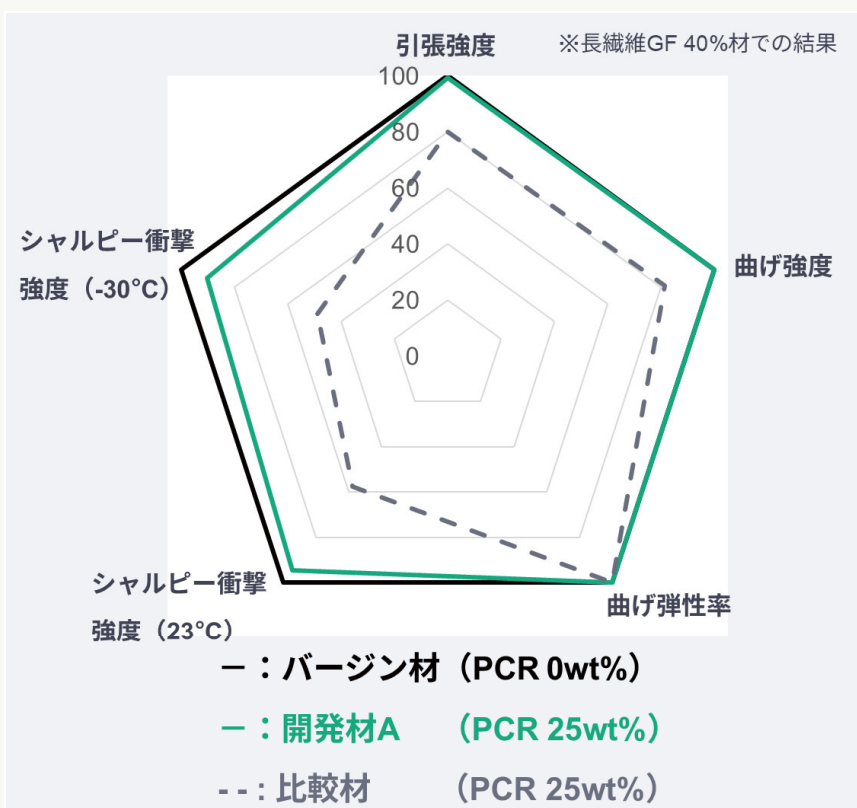
用途

バックドアインナー／フロントエンドモジュール 等

課題

- 欧州 ELV 規則、日本自動車工業会の目標等を見据え、マテリアルリサイクル材料（マテリサ材）の需要が高まっている。
- しかしながら、マテリサ材使用においては、バージン材対比で物性低下・外観悪化などの品質課題がある。

ソリューション



バージンPP 60%	GF 40%	バージン材
PCR-PP 25%	バージンPP 35%	GF 40%
ELV 5%	PCR-PP 20%	バージンPP 35%
		GF 40%

開発材A

将来構想
「欧州EVL規制対応」

※PCR：Post-consumer recycled material
※ELV：End of Life Vehicle

- 独自技術と良質な PCR 材により、バージン材と同等の性能を持つ高品質なガラス繊維強化 PP を開発

ベネフィット

- 無塗装の高外観が必要な部品（バックドアインナー等）に適用可能



お問い合わせ |  日本ポリプロ株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。